

G301	環境の科学（環境リスクを考える）		
英名科目名	Environmental Sciences		
大学名	同志社大学		
連絡先	理工学部・理工学研究科事務室 TEL：0774-65-6200 FAX：0774-65-6800		
担当教員	赤尾 聡史（理工学部准教授）		
開講期間	2021年04月07日（水）～ 2021年07月27日（火） 1講時 9時00分～10時30分（毎週水曜日） 休講 2021年5月5日（水・祝）		
開講形態	前期・春学期	開講曜日・講時	水曜日 1講時
単位数	2	履修年次	1年次以上
会場	京田辺キャンパス		
授業定員	160		
単位互換生定員	5	京カレッジ生定員	5
試験・評価方法	平常点：40% 授業への参加（課題の提出） 課題：60% 授業内容の理解 レポート型課題における自らの意見の尊重		
超過時の選考方法	抽選		
受講料	科91,000円（選10,000円、登25,000円、履56,000円） 聴38,000円		
別途負担費用	なし		
その他特記事項	授業実施方式：オンデマンド（Youtubeほか），資料提示型 利用するツール：e-class，Zoom 教員との連絡手段：e-class		
パッケージ科目			
低回生受講推奨科目			
講義概要・到達目標			
<p><概要> 人間と身近な環境の関わりを通じて、環境を維持・改善するための方法を考える。ここでは、環境を考えるきっかけとなった公害の事例、現代の日常生活におけるリスクの事例、それらを踏まえて、環境管理の目標の考え方：環境リスクマネジメントを概説する。決して1つの解が存在するわけではない環境を題材とすることから、受講者には問題を真摯に考え、議論し、共有する、姿勢を求める。</p> <p><到達目標> 知識：日常生活におけるリスクが理解できるようになる 態度：リスク・確率をもとに行動できるようになる 技能：環境リスク評価が行えるようになる</p>			
講義スケジュール			
第1回 環境問題への取り組みの系譜 第2回 世界の水問題の潮流 第3回 水資源と水利用 第4回 公害の歴史1：廃鉱山など 第5回 公害の歴史2：水俣病など 第6回 身近な生活に潜むリスク1：有機化合物 第7回 身近な生活に潜むリスク2：金属 第8回 リスクを考える1：平均値を考える 第9回（補足）平均値を考える 第10回 リスクを考える2：量 - 反応評価 第11回 リスクを考える3：化学物質の暴露量評価 第12回 リスクを考える4：環境リスクの評価 第13回（補足）微生物による環境リスク評価 第14回 これからのリスク1：水環境中の薬剤耐性菌 第15回 これからのリスク2：水災害			
受講者と相談の結果、授業計画を変更する可能性がある。			
教科書	特に使用しない		
参考書	吉田喜久雄・中西準子『環境リスク解析入門』（		

東京図書，2006），ISBN:4-489-00738-8
政野淳子『四大公害病』（中公新書，2013）
渡邊泉『重金属のはなし』（中公新書，2012）
加茂将史『生態学と化学物質とリスク評価』（共立出版，2017）